

茨城港日立港区における震災後初の出荷について

東北地方太平洋沖地震発生後、県内の港湾については、一刻も早い供用を目指し岸壁等の応急復旧作業を続けておりますが、4月3日（日）茨城港日立港区において、下記のとおり震災後初めての出荷が行われました。

今回出荷されたのは、株式会社 日立製作所日立事業所が生産する H-80 型ガスタービンで、九州電力株式会社 新大分火力発電所向け輸送されます。

日立製作所では、国内の電力需要に合わせ今後も各電力会社等に向け出荷を行う予定です。

記

1 日 時	<u>4月3日（日）</u>	入 港	12:10
		船積み開始	12:30から
		出 港	13:15
2 場 所	茨城港日立港区第2埠頭		
3 出 荷 物	重電機器類 H-80 型ガスタービン1基（補機ベース／28.1t）		
4 仕 向 地	大分港大在（おおざい）公共埠頭		

今回の出荷状況



（参考）

港(区)名	地区名	岸壁名	水深 ()は吃水 ^{※1}	供用開始日時	備考
茨城港 日立港区	第2ふ頭	2-B	(6.5m)	3/20 13:00	本来水深:-9.0m

※1 吃水表記は、海中に障害物があるため、吃水制限により暫定供用する岸壁。

※一部供用を開始した茨城県内の岸壁情報は「関東地方整備局港湾空港部の東北地方太平洋沖地震情報」のHPをご覧ください。